



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7923 URL <https://www.toin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画統括 (氏名) 坂戸 正朗

TEL 04-7131-2111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,836	6.4	686	150.1	743	73.6	454	36.0
2024年3月期第3四半期	10,182	6.4	274	664.1	428	293.7	333	311.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 632百万円 (26.2%) 2024年3月期第3四半期 501百万円 (79.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	90.20	
2024年3月期第3四半期	66.31	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	19,842	10,555	52.9	2,086.45
2024年3月期	19,336	10,010	51.5	1,979.47

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,501百万円 2024年3月期 9,963百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		5.00		12.50	17.50
2025年3月期		5.00			
2025年3月期(予想)				17.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2025年2月14日)公表いたしました「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2025年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	5.9	800	94.5	860	48.2	520	6.6	103.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2025年2月14日)公表いたしました「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	6,377,500 株	2024年3月期	6,377,500 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,344,253 株	2024年3月期	1,344,253 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	5,033,247 株	2024年3月期3Q	5,033,247 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人によるインバウンド需要の拡大や輸出の増加、株価の堅調な推移など経済環境としては好材料が見られたものの、資源・エネルギー価格や消費者物価が高水準であったことを受け、個人消費は持ち直しの動きがみられたものの本格回復には至らず、低調に推移しました。

このため、包装資材業界においても、消費者の節約志向が定着したことなどもあり、引き続き厳しい事業環境にて推移しました。当社グループは、このような状況の下、お客様に当社製品を安定的に供給することを最優先としつつ、業容の拡大を目指し、新規分野の開拓・拡大、差別化された商品・技術の開発等に注力してまいりました。また、諸資材・エネルギー価格や2024年問題を受けた物流コスト、人件費の上昇に対処すべく、引き続き諸施策を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,836百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は686百万円（前年同期比150.1%増）、経常利益は743百万円（前年同期比73.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は454百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ①包装資材事業

引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心に当社製品の優位性のアピールを軸とする企画提案型の営業活動を継続的に実施するとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいりました。

その結果、国内の売上高は、化粧品、食品分野が牽引し、増収となりました。ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）では大口顧客からの増注があり、またタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）も好調を維持したことで両現地法人とも増収となり、売上高は9,655百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

利益面については、諸資材・エネルギー価格の上昇に対して、採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等による製造コストの低減を推進した結果、前年同期比で増益となりました。

#### ②精密塗工事業

試作段階にあった既存得意先の案件が量産化に移行したことに加え、電子材料系工程フィルムの需要が旺盛であったことから、売上高は847百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

利益面については、受注増にともなう生産体制の強化と製造コストの管理を徹底し、前年同期比で増益となりました。

#### ③その他事業

きめ細かな営業活動が奏功し、化粧品関連の販促品の受注が伸びたものの、アッセンブル事業が伸び悩み、売上高は333百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

利益面については、売上の伸び悩みを受けて、前年同期比で減益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産は19,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ506百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が208百万円減少いたしました。現金及び預金が313百万円、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権が195百万円、投資有価証券が325百万円増加したことなどによるものであります。

負債は9,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加などにより固定負債のその他が167百万円増加いたしました。賞与引当金が85百万円、借入金が81百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は10,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ544百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が365百万円、その他有価証券評価差額金が169百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期連結業績予想については、2024年11月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,810,582	2,124,026
受取手形及び売掛金	3,067,069	3,388,914
電子記録債権	1,505,828	1,379,936
商品及び製品	506,300	523,993
仕掛品	529,911	426,821
原材料及び貯蔵品	311,265	328,919
その他	293,076	297,274
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	8,023,033	8,468,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,075,415	1,954,370
機械装置及び運搬具(純額)	2,132,591	2,018,027
土地	4,106,009	4,106,009
その他(純額)	82,176	108,910
有形固定資産合計	8,396,193	8,187,318
無形固定資産	86,048	31,212
投資その他の資産		
投資有価証券	2,468,054	2,793,633
その他	365,978	364,651
貸倒引当金	△3,050	△3,050
投資その他の資産合計	2,830,982	3,155,235
固定資産合計	11,313,223	11,373,766
資産合計	19,336,256	19,842,652
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	846,220	812,095
電子記録債務	2,279,422	2,397,201
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	934,300	878,900
未払法人税等	130,125	70,089
賞与引当金	139,000	53,618
その他	966,076	883,736
流動負債合計	5,645,143	5,445,640
固定負債		
長期借入金	2,974,500	2,948,600
退職給付に係る負債	68,254	70,961
役員退職慰労引当金	123,362	139,697
その他	514,465	682,414
固定負債合計	3,680,583	3,841,673
負債合計	9,325,726	9,287,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,244,500	2,244,500
資本剰余金	2,901,824	2,901,824
利益剰余金	4,005,272	4,371,195
自己株式	△711,990	△711,990
株主資本合計	8,439,607	8,805,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054,500	1,223,621
為替換算調整勘定	344,699	386,035
退職給付に係る調整累計額	124,358	86,444
その他の包括利益累計額合計	1,523,558	1,696,102
非支配株主持分	47,364	53,704
純資産合計	10,010,530	10,555,337
負債純資産合計	19,336,256	19,842,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,182,096	10,836,554
売上原価	8,400,827	8,627,399
売上総利益	1,781,269	2,209,154
販売費及び一般管理費	1,506,546	1,522,198
営業利益	274,722	686,955
営業外収益		
受取利息	7,913	7,791
受取配当金	44,664	48,010
持分法による投資利益	105,868	54,105
その他	28,060	25,435
営業外収益合計	186,507	135,343
営業外費用		
支払利息	32,585	44,690
設備賃貸費用	-	33,628
その他	86	105
営業外費用合計	32,672	78,423
経常利益	428,557	743,875
特別利益		
固定資産売却益	3,642	809
保険解約返戻金	14,013	-
受取保険金	1,865	-
特別利益合計	19,522	809
特別損失		
固定資産除却損	4,108	2,975
減損損失	-	115,680
役員退職慰労金	46,565	338
特別損失合計	50,673	118,993
税金等調整前四半期純利益	397,405	625,690
法人税、住民税及び事業税	59,227	136,080
法人税等調整額	5,219	32,508
法人税等合計	64,447	168,588
四半期純利益	332,958	457,102
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失(△)	△800	3,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	333,758	454,005

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	332,958	457,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,636	169,121
為替換算調整勘定	129,489	22,790
退職給付に係る調整額	20,661	△37,913
持分法適用会社に対する持分相当額	14,821	21,789
その他の包括利益合計	168,610	175,787
四半期包括利益	501,568	632,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498,988	626,549
非支配株主に係る四半期包括利益	2,580	6,340



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等（以下、「法人税等」という。）について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,242,977	585,903	9,828,880	353,216	10,182,096	-	10,182,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,242,977	585,903	9,828,880	353,216	10,182,096	-	10,182,096
セグメント利益	661,380	137,137	798,518	46,079	844,597	△569,875	274,722

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。

2. セグメント利益の調整額△569,875千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,655,305	847,593	10,502,899	333,654	10,836,554	-	10,836,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,655,305	847,593	10,502,899	333,654	10,836,554	-	10,836,554
セグメント利益	949,454	294,251	1,243,705	25,383	1,269,089	△582,133	686,955

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。

2. セグメント利益の調整額△582,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、システム開発に伴う損失115,680千円を減損損失として、特別損失に計上しております。

これは、共用資産である基幹システム再構築の見直しに伴う、ソフトウェア仮勘定の減損処理によるものであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	633,751千円	599,736千円